科目名	病態治療論Ⅰ	講師	非常勤講師
履修時期	1年　後期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

病態とは、疾患の原因である病的な状態あるいはその発生機序をいう。一般には「病気」」と表現され、人体の正常性が器質的または機能的に破綻した状態とされる。これに対し治療とは、人体にもともと備わっている治癒力を助けるものであり、患者の病態を改善し健康を回復するための医師による行為を指す。

看護者が対象の自然治癒力を引き出し、回復過程を支援するための働きかけを行うには、患者に出現している症状や徴候を的確かつ詳細に観察し、疾患や治療が患者の身体的・精神的・社会的側面におよぼす影響を捉えなくてはならない。よって患者に合った看護を実践するためには病態と治療についての理解は不可欠といえる。そこで、疾患の種類を組織・器官の系統別に分け、病態・検査・治療に関する知識の獲得をねらいとして科目を設定する。

ここでは『病態治療学Ⅰ』として、呼吸器疾患/循環器疾患の病態・検査・治療について理解する。

学習目標	①呼吸器疾患の病態生理・検査・処置・治療の概要と、それらが生体に及ぼす影響が理解できる。 ②循環器疾患の病態生理・検査・処置・治療の概要と、それらが生体に及ぼす影響が理解できる。
学習内容	**【呼吸器】**…14時間 1. 主要症状と病態生理 ①咳嗽 ②喀痰 ③血痰・喀血 ④胸痛 ⑤呼吸困難 ⑥チアノーゼ 2. 主たる疾患の病態生理・症状・検査・処置・治療 ①肺炎 ②間質性肺炎 ③気管支喘息 ④慢性閉塞性肺疾患 ⑤呼吸不全 ⑥肺腫瘍 ⑦肺結核 ⑧自然気胸 **【循環器】**…14時間 1. 主要症状と病態生理 ①胸痛 ②動悸 ③呼吸困難 ④浮腫 ⑤チアノーゼ ⑥ショック 2. 主たる疾患の病態生理・症状・検査・処置・治療 ①労作性狭心症 ②急性心筋梗塞 ③心不全 ④血圧異常 ⑤不整脈 ⑥弁膜症 ⑦心筋症 ⑧大動脈瘤

	終講試験
授業形態	講義・グループワーク
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　成人看護学②「呼吸器」、成人看護学③「循環器」医学書院
参考資料・図書	授業資料がある場合は、適宜印刷して配布する。
履修上の留意事項・受講条件	複数の講師で担当するので出席時間等は自己管理し欠席等のないように授業に臨むこと。 特に解剖生理学の知識と繋げて理解するために、予習・復習を欠かさず行うこと。